

初版 : 2022/03/10
改訂日 : 2023/10/25
版番号 : 2

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : AmMag™ Quatro Plasmid Purification Kit

AmMag™ Quatro Plasmid Purification (TE) Kit

製品番号 (SDS NO) : L00882-24, L00943-24 (AmMag_JP-1v2_20231025)

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 細胞からプラスミドまで、プラスミド抽出のためのワンストップ磁気ビーズ法

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : ジェンスクリプトジャパン株式会社

住所 : 〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町48 ism神田4F

担当部署 : セールス&マーケティング

電話番号 : 070-2269-1413

FAX : 03-6811-6573

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 4

急性毒性(経皮): 区分 4

急性毒性(吸入): 区分 4

皮膚腐食性/刺激性: 区分 1C

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

皮膚に接触すると有害

吸入すると有害

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

臓器の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣を着用すること。
保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

漏出物を回収すること。
特別な処置が必要である。
直ちに医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
口をすすぐこと。
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
蒸留水	7732-18-5	50 - 60	-
グアニジンチオシアン酸塩	593-84-0	30 - 40	-
塩酸グアニジン	50-01-1	1 - 10	2-1773
ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル	9036-19-5	1 - 10	-
酢酸カリウム	127-08-2	1 - 10	2-692
酢酸	64-19-7	1 - 10	2-688
ラウリル硫酸ナトリウム	151-21-3	< 1	2-1679
水酸化ナトリウム	1310-73-2	< 1	1-410
2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1,3-プロパンジオール	77-86-1	< 0.1	2-318
エチレンジアミン四酢酸	60-00-4	< 0.1	2-1263; 2-1296
塩酸	7647-01-0	< 0.1	1-215

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

酢酸

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

酢酸

化管法(令和5年3月31日まで有効)「第1種指定化学物質」該当成分

ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル

化管法(令和5年4月1日施行)「第1種指定化学物質」該当成分

ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

直ちに医師に連絡すること。

医学的な助言が必要なときには、このSDSを持っていくこと。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。

呼吸困難のときは酸素吸入を行う。

直ちに医師の診察/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

特有の危険有害性データなし

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火水の下水への流入を防ぐ。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

酸、塩基、酸化性物質との接触を避けること。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

施錠して保管すること。

(避けるべき保管条件)

飲食物、動物用飼料から離して保管する。

高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(酢酸)

日本産衛学会(1978) 10ppm; 25mg/m³

(水酸化ナトリウム)

日本産衛学会(1978) (最大値) 2mg/m³

(塩酸)

日本産衛学会(2014) (最大値) 2ppm; 3.0mg/m³

(酢酸)

ACGIH(2004) TWA: 10ppm;

STEL:15ppm (上気道及び眼刺激、肺機能)

(水酸化ナトリウム)

ACGIH(1992) STEL: 上限値 2mg/m³ (上気道, 眼及び皮膚刺激)
(塩酸)

ACGIH(2002) STEL: 上限値 2ppm (上気道刺激)

ばく露防止

設備対策

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態: 液体

色: 無色 - 黒

臭い: 軽度の臭い

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体): 燃焼しない

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点: 燃焼しない

自然発火点データなし

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度: 一部溶解

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

蒸発速度データなし

密度及び/又は相対密度データなし

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性: 適用外

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件
高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。
混触危険物質
酸、塩基、酸化性物質
危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]
(塩酸グアニジン)
rat LD50=774mg/kg (IUCALD, 2000)
(ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル)
rat LD50=1700mg/kg (EO 8-10)
(CERI/NITE有害性評価書 105, 2006)
(酢酸)
rat LD50=3310mg/kg (PATY 5th, 2001)
(ラウリル硫酸ナトリウム)
rat LD50=1200mg/kg (SIDS, 2009)
(エチレンジアミン四酢酸)
rat LD50 > 2000mg/kg (EU-RAR 49, 2004)
(塩酸)
rat LD50=238mg/kg (SIDS, 2009)
[会社固有データ]
(製品)
区分4 (供給者SDS)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]
(酢酸)
rabbit LD50=1060mg/kg (PATY 5th, 2001)
(ラウリル硫酸ナトリウム)
rabbit LD50=ca. 200mg/kg (SIDS, 2009)
[会社固有データ]
(製品)
区分4 (供給者SDS)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]
(塩酸)
mist: rat LC50=0.42mg/L/4hr (SIDS, 2009)
gas: rat LC50=1411ppm/4hr (SIDS, 2009)
[会社固有データ]
(製品)
区分4 (供給者SDS)

労働基準法: 疾病化学物質
塩酸; 水酸化ナトリウム

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]
(塩酸グアニジン)

ラビット 強い刺激性 (IUCLID, 2000)
(酢酸)
ラビット/モルモット 重度の熱傷 (PATTY 5th, 2001 et al)
(ラウリル硫酸ナトリウム)
ラビット 中等度から強度の刺激性 (SIDS, 2009)
(水酸化ナトリウム)
ブタ/ラビット 重度の壊死 (ACGIH 7th, 2001 et al)
(塩酸)
ラビット/マウス/ラット/ヒト 腐食性 (SIDS, 2009)
[会社固有データ]
(製品)
区分1C (供給者SDS)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[日本公表根拠データ]
(塩酸グアニジン)
ラビット 刺激性 (IUCLID, 2000)
(ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル)
ラビット 中等度の刺激性 (CERIハザードデータ集 2001-42, 2002)
(酢酸)
ラビット 永続的角膜損傷 (IUCLID, 2000et al)
(ラウリル硫酸ナトリウム)
ラビット 非可逆的な影響 (SIDS, 2009)
(水酸化ナトリウム)
ラビット 腐食性 (SIDS, 2009)
(エチレンジアミン四酢酸)
ラビット 8日後に症状消失 (EU-RAR 49, 2004)
(塩酸)
ラビット 腐食性 (SIDS, 2002)
[会社固有データ]
(製品)
区分1 (供給者SDS)
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[IARC]
(塩酸)
Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない
[ACGIH]
(塩酸)
A4(2002): ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(酢酸)
血液、呼吸器系 (ACGIH, 2004)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
誤えん有害性データなし
12. 環境影響情報
生態毒性
水生環境有害性
長期継続的影響によって水生生物に毒性
水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル)

藻類 (セレナストラム) EC50=0.21mg/L/96hr (CERI/NITE, 2006)

(酢酸)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=65mg/L/48hr (Aquire, 2010)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

甲殻類 (アカルチア) EC50/LC50=0.12mg/L/96hr (SIDS, 2009)

(水酸化ナトリウム)

甲殻類 (ネコゼミジンコ属) LC50=40.4mg/L/48hr (SIDS, 2004)

(エチレンジアミン四酢酸)

魚類 (ブルーギル) LC50=41mg/L/96hr (EU-RAR, 2005)

(塩酸)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.492mg/L/48hr (SIDS, 2005)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(ラウリル硫酸ナトリウム)

甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC (繁殖)=0.88mg/L/7days (SIDS, 2009)

水溶解度

(塩酸グアニジン)

215 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2000)

(酢酸カリウム)

256 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2006)

(酢酸)

混和する (ICSC, 2010)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

溶ける (15 g/100 ml, 20°C (ICSC, 1997))

(水酸化ナトリウム)

109 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2010)

(エチレンジアミン四酢酸)

非常に溶けにくい (0.05 g/100 ml, 20°C) (ICSC, 2008)

(塩酸)

67 g/100 ml (30°C) (ICSC, 2000)

残留性・分解性

(ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル)

BODによる分解度: 22% (既存点検)

(酢酸)

BODによる分解度: 74% (既存点検)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

急速分解性あり (BOD分解度=85.0%/14 days; TOC分解度=99.3%/14 days (J-CHECK 2016))

(エチレンジアミン四酢酸)

BODによる分解度: 0% (既存点検)

生体蓄積性

(塩酸グアニジン)

log Pow=-1.7 (ICSC, 2000)

(ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル)

BCF < 31 (Check & Review, Japan)

(酢酸)

log Pow=-0.17 (PHYSPROP DB, 2005)

(ラウリル硫酸ナトリウム)

log Kow = 1.6 (PHYSPROP DB, 2008)

(エチレンジアミン四酢酸)

BCF=123 (Check & Review, Japan)

(塩酸)

log Pow=0.25 (ICSC, 2000)

土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 3316
正式輸送名 :
化学検査キット又は救急キット
危険物質、液体 N.O.S.
分類または区分 : 9
容器等級 : III
指針番号: 171
特別規定番号 : —

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 3316
正式輸送名 :
化学検査キット又は救急キット
危険物質、液体 N.O.S.
分類または区分 : 9
容器等級 : III
特別規定番号 : —

IATA 航空危険物規則書

国連番号またはID番号 : 3316
正式輸送名 :
化学検査キット又は救急キット
危険物質、液体 N.O.S.
分類または区分 : 9
危険性ラベル : Miscellaneous
容器等級 : III
特別規定番号 : A44, A163

環境有害性

MARPOL条約附属書III – 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 該当

MARPOL条約附属書V – 廃物排出による汚染防止

水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質
ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
本品はバルク輸送されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

有害性物質 分類9

航空法

その他の有害物件 分類9

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

酢酸(別表第9の176)

名称通知危険/有害物

酢酸(別表第9の176)

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)

第1種指定化学物質

ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル(3.6%)[(1-408)]

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)

第1種指定化学物質

ポリ(オキシエチレン)アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が8のものに限る。)(3.6%)
[(管理番号408)]

消防法に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

エチレンジアミン四酢酸(政令番号36 人健康影響/生態影響); ラウリル硫酸ナトリウム
(政令番号214 生態影響)

大気汚染防止法

ばい煙

有害物質 政令第1条第1号から第5号

塩酸(政令第1条第2号)

有害大気汚染物質

エチレンジアミン四酢酸(中環審第9次答申の28)

特定物質 政令第10条第1号から第28号

塩酸(政令第10条第9号)

水質汚濁防止法

指定物質

塩酸

法令番号 5

水酸化ナトリウム

法令番号 6

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和2年度 (2020年度)) です。

但し、当社の判断に基づいて、データを一部変更しております。